

富士山・河口湖映画祭

施策のポイント

富士山から映画文化を発信することを目的として取り組んでいる事業。単なる映画上映会ではなく、シナリオコンクールを行いグランプリ作品を映画化するという特徴的な取り組みを行っている。これまでに2作品の映画を制作した。

自治体情報

山梨県富士河口湖町

人口 / 25,874人

標準財政規模 / 7,137,907千円

担当課 政策局

電話番号 直通 0555-72-6023 代表 0555-72-1111 内線 231

実施主体 富士山・河口湖映画祭実行委員会

関連ホームページ http://www.fujisan.ne.jp/search/info.php?ca_id=3&if_id=744

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類 ① ② ⑥_±

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

富士山はこれまでの歴史を見ても、浮世絵やかな文字など当時の最先端の文化技術を駆使して表現されてきた。現代の最先端の文化技術である映画技術を活用し、後世に残していくことで、富士山の文化的価値を高めることを目的としている。

2 取り組みの具体的内容

富士山を題材としたシナリオのコンクールを行い、グランプリ作品を映画化し、映画祭で上映している。審査委員長は、第1回岡田恵和氏、第2回ジェームス三木氏、第3回山本むつみ氏と一流の方をお願いし、映画祭では記念講演もお願いしている。このような映画文化を高める活動に併せ、映画祭では、多くの映画作品の上映も行い、映画文化を広める活動にも取り組んでいる。映画祭は2月に行っており、観光客の少ないシーズンの目玉イベントとして地域内外から多くの方を受け入れている。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

本事業は、映画文化を高める活動と映画文化を広める活動の2つを目的として取り組んでいる。前者としては、シナリオコンクールの応募 100 編、後者としては延べ 1,000 人規模の来場者を想定していた。

4 現在までの実績・成果

シナリオコンクール応募数 第1回 184 編 第2回 174 編 第3回 266 編

映画祭来場者 第1回延べ約 500 名 第2回延べ約 1,000 名 第3回延べ約 1,000 名

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

シナリオコンクールは東京のシナリオセンターの協力を得ることで実施している。応募前には共催でシナリオ教室を実施することで、初心者も参加できる環境を整えた。映画は、ドラゴンムービーの協力により制作されている。出演者もほぼボランティアで参加していただいております、村野武範氏、剛たつひと氏など俳優の方々の協力も得ている。撮影場所は地元の空き家や地方鉄道などをお借りし、

昼食は地元の方々による炊き出し、エキストラの出演、衣裳の提供のなども地域の方々が一丸となって取り組むことで、低コストでの映画制作が実現している。

6 今後の展開と課題

低コストでの映画制作には限界が感じられるものの地域の方々の協力・創意工夫により対応している。今後は制作した映画を他地域での上映機会を増やし、映画祭の知名度の向上と来場者数、シナリオ応募数数の増加を目指す。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
4,000千円		0千円	0千円	0千円	0千円	4,000千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：映画祭チラシ